



2024年2月14日

各 位

会 社 名 グリーンランドリゾート株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 松野 隆徳
(コード番号 9656 福証・東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役経営管理室長 佐伯 賢二

「中期経営計画 2026」策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、「中期経営計画 2026」(2024年12月期～2026年12月期)を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 策定の背景

当社は、事業を通して「夢や感動を与える企業」でありたいと考えており、創業以来現在まで、たゆまぬ創造・革新によってお客様に常に満足を提供することを心がけてまいりました。

そこで、当社事業の中心施設であります遊園地「グリーンランド(熊本県荒尾市)」が、2026年に開園60周年を迎えることに合わせ、今般新たに「中期経営計画 2026」を策定することとして、引き続き、「中長期的な企業価値の向上と持続可能な社会」の実現に向けて、各事業活動を推進してまいります。

2. 計画の骨子

(1) 各事業の収益力強化

- ・長年にわたる事業で培った、当社グループ各施設の知名度の高さとブランド力を活かした、集客力強化に向けた取り組み
- ・主力の遊園地事業を中心とした新たな設備投資による魅力の創出
- ・新たなサービス創造による付加価値の増大

(2) 経営効率化の推進

- ・DX推進による顧客満足度向上と業務効率化の推進
- ・効率的な運営経費支出の実施

(3) 人的資本経営の推進

- ・年間総実労働時間の短縮、福利厚生制度拡充など、従業員エンゲージメント向上に向けた幅広い取り組み
- ・教育訓練・資格取得制度の拡充、女性管理職育成など将来に向けた人財基盤の強化

(4) SDGsを意識したサステナビリティ経営の強化

- ・当社グループの主力事業であるサービス業の特性を活かした社会貢献への取り組み
- ・当社グループが有する豊かな緑地の整備のほか、環境負荷の少ない原材料調達など、持続可能な社会づくりへの取り組み

詳細につきましては、添付の資料をご覧ください。

以 上

中期経営計画2026

2024年2月14日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード: 9656)

1. 中期経営計画策定の背景

企業理念

【企業理念】

当社グループは、事業を通して、あらゆる世代の方々に、「夢や感動を与える企業」でありたいと願い続けております。

また、企業としての利益の確保はもちろんのこと、社会的責任を自覚の上、法令の遵守や倫理に則った企業活動を実践し、地域発展への貢献にも努め、すべてのステークホルダーから「信頼」される企業を目指してまいります。

企業メッセージ

【企業メッセージ】

「ココロを『みどり』でいっぱい。」をキャッチコピーに掲げ、「お客様のココロをイキイキとした『みどり』でいっぱいにしたい。」という基本精神の下で、常に洗練された施設作りを実現し、感動のサービスやおもてなしのご提供に努めてまいります。

中期経営計画2026 (2024年～2026年)

【計画の骨子】

- (1) 各事業の収益力強化
- (2) 経営効率化の推進
- (3) 人的資本経営の推進
- (4) SDGsを意識したサステナビリティ経営の強化

2. 中期経営計画の骨子

(1) 各事業の収益力強化

【当社グループ事業の構成】



ゴルフ事業



不動産事業



遊園地事業



ホテル事業



土木・建設
資材事業

2.中期経営計画の骨子

(1)各事業の収益力強化

長年にわたる事業で培った当社グループ各施設の知名度の高さとブランド力を活かした集客施策

- ◆当社グループの中心施設である九州の遊園地「グリーンランド」は、2026年に開園60周年を迎えます。
この長きにわたる遊園地の歴史は、多くのファンの皆様に支えられ、時には、その子から子へと紡がれてきたものであり、一人ひとりがこれまでご体験された遊園地での楽しい思い出が、世代を超えて、新たなご来園に繋がっていくものと考えております。
また、当園は日本一のアトラクション数を誇っており、この遊園地として最大のブランド力を全面に打ち出すとともに、広大な敷地を背景とした他では味わえないスケールの大きいイベントやこれまでにない斬新な発想のイベントを展開して集客を図ってまいります。



そのほか、今年「有明カントリークラブ大牟田ゴルフ場」が開場50周年、「ホテルヴェルデ」が開業30周年を迎え、2026年には、「グリーンランドリゾートゴルフコース」が開場60周年、「北海道グリーンランド遊園地」が開園40周年を迎えることとなり、長きにわたるお客様からのご愛顧に応えるべく、各施設において、各々の特色を活かした周年イベントを開催し、新たな未来に向けて、顧客の拡大に繋げてまいります。



2.中期経営計画の骨子

(1)各事業の収益力強化

新たな設備投資による集客施設の魅力の創出

◆九州の遊園地「グリーンランド」では、日本一のアトラクション数の魅力を更に拡大させるため、既存の人気アトラクションの大規模リニューアルのほか、開園60周年目となる2026年に向けて、13年ぶりとなる大型アトラクションの導入を取り進めてまいります。

「北海道グリーンランド遊園地」におきましては、開園40周年となる2026年に向け、新規アトラクションの導入や周年記念イベント開催を取り進めてまいります。

新たなサービス創造による付加価値の増大

◆当社グループにおける各設備の更新やおもてなしの接客向上は勿論のこと、遊園地、ゴルフ場、ホテルと周辺レジャー施設を合わせた「複合レジャーエリア」の強みを活かし、新たなサービス創造による付加価値増大を図ることで、より収益性の高い企業体質への転換を図ってまいります。

2.中期経営計画の骨子

(2)経営効率化の推進

DX推進による顧客満足度向上と業務効率化の推進

社内チーム「DXプロジェクト」を中心として、当社グループにおける積極的なDX推進を行い、顧客満足度の向上と業務効率化をはじめ、様々な経営課題解決に取り組んでまいります。



スマートフォンで、いつでもタイムリーな情報が確認できる遊園地の「デジタルマップ」



繁忙時の待ち時間を短縮できるゴルフ場の「自動精算機」

効率的な運営経費支出の実施

各種SNSを活用したPR施策や顧客の動向データに基づいた集客イベント実施など、効率的な各種運営経費支出の実施により、一層の収益性向上を図ってまいります。

2.中期経営計画の骨子

(3) 人的資本経営の推進

当社グループ事業にとって最も重要となる「人財」の確保と育成に向けて

- ◆ 実質的な年間休日数の拡大をはじめとする「年間総実労働時間数」の短縮
- ◆ 当社グループが掲げる「ココロを『みどり』でいっぱい。」のキャッチコピーのとおり、各事業を支えるスタッフ全員の幸福度が高まるような「働き甲斐のある職場づくり」の推進
- ◆ 福利厚生制度の拡充のほか、ライフワークバランスの実現に向けた取り組み
- ◆ eラーニング促進や外部講師派遣による研修制度の充実化
- ◆ 定期採用に限定しない多様な人財獲得戦略に加え、高度専門人財などスペシャリストの獲得

2.中期経営計画の骨子

(4)SDGsを意識したサステナビリティ経営の強化

「ココロを『みどり』でいっぱい。」の気持ちで環境と社会に貢献

当社グループのキャッチコピーである「ココロを『みどり』でいっぱい。」の言葉どおり、緑豊かな自然を守り、地域社会の皆様の心を豊かにするような取り組みを続けてまいります。



ゴルフ場が管理する芝は、CO₂を吸収する光合成の効率性が高く、有機物生産に優れ、大気を浄化いたします。



地域の児童スポーツ大会を応援しております。



屋根に設置した太陽光発電パネルで事業場の電力の一部をまかっております。



お客様が安全安心にお楽しみいただけます。お客様に、環境に配慮した製品をご提供いたしますよう努めてまいります。



レストランで使用する食材は、地産地消を心がけております。

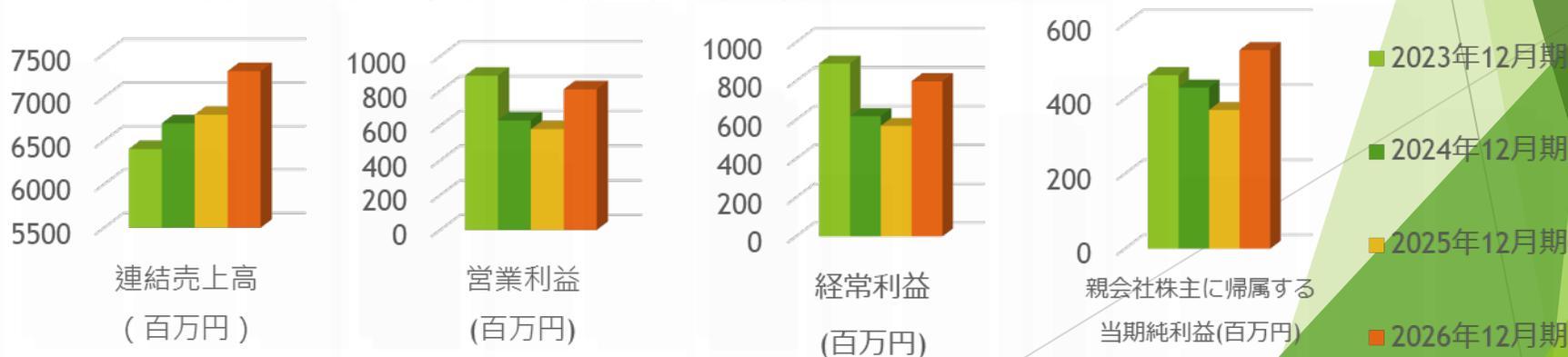
3.業績目標および株主還元方針

(1) 連結売上高・営業利益等

	2019年12月期 (実績) ※	2023年12月期 (実績)	2024年12月期 (計画)	2025年12月期 (目標)	2026年12月期 (目標)
連結売上高	8,359百万円	6,406百万円	6,700百万円	6,800百万円	7,300百万円
営業利益	684百万円	888百万円	630百万円	580百万円	810百万円
経常利益	691百万円	891百万円	620百万円	570百万円	800百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	386百万円	463百万円	430百万円	370百万円	530百万円
ROE (自己資本利益率)	3.4%	4.8%	4.3%	3.6%	5.0%
PBR (株価純資産倍率)	0.49倍	0.75倍	—	—	—

◆2025年12月期(目標)につきましては、2026年12月期の九州のグリーンランド(遊園地)の開園60周年及び北海道グリーンランド遊園地の開園40周年の準備に向けた広告宣伝費等の費用を見込んでいるため2024年12月期(計画)より各利益は減少しておりますが、コロナ前の2019年12月期(実績)並みの業績を見込んでおります。

※2019年12月期(実績)の連結売上高等は収益認識基準適用前の数値となっております。



3.業績目標および株主還元方針

(2) 株主還元

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置付け、安定的な剰余金の配当に配慮するとともに、今後の事業展開および財務体質の強化に不可欠な内部留保の確保を勘案のうえ、適正な配当を実施することを基本方針としております。

これを踏まえ、直接的な株主還元と中長期的な株価上昇による株主還元を目指し、配当性向につきましては、引き続き30%以上を目標として、利益成長を通じた安定的な配当を目指してまいります。

また、年2回の株主優待を引き続き実施するとともに、自社ホームページなどによるIR関連情報の積極的な発信に取り組み、より多くの皆様に当社株式を保有頂くことを目指します。

(本資料に関するお問い合わせ先)

〒864-8691 熊本県荒尾市下井手1616番地

グリーンランドリゾート株式会社 経営管理室

TEL 0968-66-2111 E-mail soumu@greenland.co.jp

<https://www.greenland.co.jp/ir/>

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の作成日現在のデータ等に基づいて作成されており、記載された意見等は、資料作成時点の当社の判断によるものです。

当社は、本資料に記載した情報の正確性、完全性を保証するものではありません。